



4月の学級・学年づくりは？



4月の始業日から3週間が終わります。その間、オリエンテーションをはじめ様々な行事があり、慌ただしい毎日だったと思います。皆さんは、進級した学年や新しい学級で、順調なスタートを切ることができたでしょうか。

15年ほど前のことになりますが、私が本校で学級担任や学年主任を務めていたときに心がけていたことは「できるだけ生徒や先生の近くで話をすることや聞くこと」でした。

その大切さを伝えるために、本校2年目の今年は、校内をにこにこ笑いながら巡回し、時々生徒に声をかけるようにしています。（2・3年生は「校長がやたらと出沒するなあ」と思っているかもしれませんね・・・。）

その中で感じていることは、どの学年にも「附属中学校の生徒の一員としての自覚」が見られるということです。

3年生は、「附属中学校の顔」となれるように、学校全体の集団作りの中心になっています。特にファミリー活動における気遣いや体育大会に向けての結団式や練習の中でのリーダーシップは「さすが」だと思います。進路の実現に向けて、授業にも積極的に取り組んでいますので、学力も確実に定着していくでしょう。

2年生には、「支える立場」をわきまえた行動が見られます。3年生が主体的に動くことに対して、何を2年生としてすればよいのかがよく理解できています。そのことが、1年生を附属中学校の一員に迎え入れることにもつながっています。

1年生には、「附属中学校への期待感」が見られます。先輩方の行動に対するあこがれや、自分の3年間の目標を掲げる姿勢は、これからがとても楽しみです。何よりも「学校が楽しい」と思えるように、ポジティブに行動してほしいです。

E級の皆さんも、多様な活動を通して、仲間とともに経験をたくさん積んでいます。先日は、収穫した野菜を嬉しそうに見せてくれました。

このように、慌ただしい4月ではありますが、まずは「自覚的」な行動をとることができていると評価しています。

一方で「気遣い」について、ひとりひとりが心がけたほうがよい面もあります。私はトイレを使用したときに必ずスリッパを正します。「却下照顧」という言葉のとおり、その場で自分の（行動や発言など）足元を見ることにもつながると考えるからです。なかなかきちんと揃っていないトイレのスリッパ。整っていないときには、整える余裕のある生徒が増えれば、すべてが本物になるのではないかと思います。自分が気持ちがよいと感じる環境は、周りも気持ちがよいと感じる環境です。挑戦してみましょう。



はきものをそろえると心もそろふ 心がそろうとはきものがそろふ

GWの過ごし方 健康・安全が大切です！

今年のゴールデンウィークは、4月26日～27日、29日、5月3日～6日の飛び石になります。それぞれのご家庭や部活動等でも、もう既に計画が立っているのではないのでしょうか。

連続した休みの中で気になるのが、どうしても健康面や安全面です。不摂生が連続すると、学校が始まった後に朝がきついなどの不調が出てくる可能性がありますので、できるだけいつもの時間に起きて、いつもの時間に寝ることを心がけましょう。

とは言っても、計画を楽しみたい気持ちはよくわかりますので、自己調整をしましょう。（自己調整ができるのが附属中学校の生徒の良さですよ！）

交通安全にも十分留意しましょう。この期間は、交通事故等も多発します。観光に来られた方が慣れない道路で接触事故を起こすなどのケースもよく耳にします。

私が本校で最後に持ち上がった学級の生徒は、登校中に大きな事故にありました。生徒の皆さんには、結団式のときに左足を切断したためその生徒と一緒に参加できる団技を生徒が考えたことを話しましたね。生徒が退院をした後、母親が傷のついたヘルメットを学校に持参され「こんなに大きな事故にあってわが子の命があったのは、ヘルメットをきちんと着用していたからです。附属中学校の全生徒にこのことを伝えてください。」と言われたことが印象に残っています。自分の命は自分で守るためにも、自転車に乗るときには、あごひもを緩みなく締めるなど、正しくヘルメットを着用してください。来年の4月から16歳以上を対象に罰則規定になるという「ながらスマホ」や「イヤホンの着用」もやめましょう。

最近では、高校生でもヘルメットを着用している姿を多く見かけます。中には、かごに入れるだけのお飾りになっていたり、着用していても顎ひもが緩かったりして、ヘルメットの役割を果たしていない様子も見られます。

附属中学校の生徒の皆さんは大丈夫でしょうか。

私の受けもった生徒の母親の気持ちを受け止めてもらえるものと信じて、ここに紹介しました。

生徒総会 I から 附属で学ぶこと

23日に行われた生徒総会 I では、2つの北斗パターンカード「視点を役立てる」「すごいメモをとる」の活用方法を自分たちの今の姿に照らし合わせ、これからどのようにしたいのかを議論しました。縦割りのファミリー（1～3年生のグループ）で考える時間や、考えたことを全体に広げていく時間もあり、普段はなかなか考える機会がないことを議長団の皆さんを中心に計画し、意義のある会にしてくれました。

「なるほど」と思った発言も多くありました。私はE級の皆さんが考えた「すごいメモ」のとり方で「音声に残したものを簡条書きにして、内容を再構築するために役立てる」という意見をやってみたいと思いました。会議などで大切なことを聞き落としていることもありますので、大人の私にもとても参考になりました。